

令和7年度介護現場における業務改善・業務効率化のための伴走支援施設募集要領

1 目的

高齢化社会の中、介護現場は介護ニーズの急増と多様化に対応することが求められていますが、それに対応するための介護人材が不足している状況です。

介護人材不足を補うための手段のひとつとして、介護テクノロジーの活用や介護現場のマネジメントの見直しがあげられます。介護テクノロジーを活用し業務改善・業務効率化を行うことで、介護職員等の負担軽減や職場環境をより良くすることができ、介護人材確保や定着につながります。

介護現場の課題解決に取り組む県内のモデルとしての伴走支援施設を募集します。

2 対象施設

県内の介護サービス事業所 3事業所程度

- ・岩手県内にある介護事業所であること。
- ・介護の質の向上に取り組む意欲のある事業所であること。
- ・実施期間中に現地での3～5回の訪問・研修会に対応できること。また、オンラインミーティングやチャット等に対応可能であること。
- ・取組内容や成果について、成果発表会（令和8年2～3月予定）での取組について発表できること。
- ・実施期間後も県内のモデル施設として積極的に取組を発信し、法人内や地域で横展開していく意欲があること。

3 実施期間

令和7年8月～令和8年3月末（予定）

4 費用

本事業実施のために要する業務アドバイザーに対する費用（謝金および旅費等）については、事業所の負担はありません。ただし、業務改善・業務効率化の取組に必要な介護テクノロジーやその他の経費については、事業所の負担となります。

5 実施内容

「いわて介護現場サポートセンター」が派遣する業務アドバイザーの伴走支援のもと、以下の生産性向上の取組を実施します。課題の整理、計画作成等に係る介護サービス事業所への訪問は3～5回程度を想定しています。その他のアドバイスや相談等についてはオンラインミーティングやチャットツールを使用予定です。

厚生労働省の介護サービス事業における生産性向上に資するガイドラインに沿って伴走支援を行います。

介護サービスにおける生産性向上の取組は下記の7つに分類することができます。

① 職場環境の整備	5 S の視点で安全な介護環境と働きやすい職場を整備する。
② 業務の明確化と役割分担	業務の明確化と役割分担の見直しにより、ムリ・ムダ・ムラ（3 M）を削減して、マスターラインを再構築する。
③ 手順書の作成	理念やビジョンをもとに職員の経験値、知識を可視化・標準化することで、若手を含めた職員全体の熟練度を養成する道筋を作る。
④ 記録・報告様式の工夫	項目の見直しやレイアウトの工夫などにより、情報を読み解きやすくする。
⑤ 情報共有の工夫	I C Tなどを用いて転記作業の削減や、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有のタイムラグの解消を図る。
⑥ OJT の仕組みづくり	日常業務を通じた人材育成の仕組みを作る。 教育内容の統一と指導方法の標準化を図る。
⑦ 理念・行動指針の徹底	組織の理念や行動指針に基づいて、自律的な行動がとれる職員を育成する。

6 申込期間

令和 7 年 7 月 2 日（水）9:00 ～ 7 月 16 日（水）17:00

*申込多数の場合は、締切より前に応募を打ち切る場合がありますので予めご了承ください。

7 申込方法

当財団ホームページの介護ロボット事業→業務アドバイザーによる伴走支援の「申込フォーム」もしくは下記の Q R コードから応募ください。 <https://forms.gle/cpv7hJFgqj1hW29n6>



8 決定までの流れ

- （1） 申込のあった事業所において、書類審査を実施します。地域・事業規模・サービス種別・現在抱えている課題等を総合的に勘案し選定します。
- （2） 必要時、面接（ヒアリング）を実施し介護事業所を決定します。
- （3） 審査結果はすべての応募者に対し文書にて通知します。なお、選考結果に関する問い合わせには応じられないので予めご了承ください。

9 お問い合わせ先

いわて介護現場サポートセンター 担当：及川

TEL 019-601-6500 FAX 019-625-7494

Mail ikrobo@silverz.or.jp